



医療法人社団 岡本会 岡本病院

岡本真紀

OKAMOTO MAKI

PROFILE ■

大阪大学医学部附属病院内分泌代謝内科、日本生命病院総合内科、予防医学センター、第二大阪警察病院糖尿病療養指導センター、芳珠記念病院の人間ドック部門などで勤務。また内科専門医の資格を有する、日本美容皮膚科学会の会員でもある。



不足する栄養を医療用サプリや漢方で補う。



高濃度ビタミンC点滴なども提供している。

内科医の視点を活かした美容法

小松市にある「岡本病院」では、内科兼、美容皮膚科の医師でもある岡本先生が内科医の視点を活かした美容と治療を提案している。岡本先生のモットーは「アクティブエイジング」だ。これは高齢になっても健康でいきいきと社会参加をすることを意味しており、その現実のために同院では分子整合栄養医学に基づいた「栄養療法（オーソモレキュラー）」にも取り組んでいる。

栄養療法とは適切な食事やサプリメントを用いて、身体を構成する約60兆個の細胞の働きを向上させることで、様々な病気を治す療法のこと。血液検査を行い、患者の隠れた異常を発見し、サプリメントや高濃度ビタミンC点滴などを用いて、1人ひとりが持つ自然治癒力を最大限に引き出す。そうする事によって美容面でいえばニキビやシミなどの肌質改善や代謝アップなどに結びつく。加えて、様々な最新のマシーンも導入しており、日本で数台しかない「エムスカルプト」も所持している。筋肉を鍛え脂肪を燃焼させるマシンで、体を傷つけないのが特徴。30分間で2万回の筋収縮を起こし筋肉を増大できるとあって、医療

や美容業界の注目機器だということ。ダイエットはもちろんのこと、体的に運動が厳しくなった人でも寝ているだけで筋肉を付けることができるため、医療現場でも活躍しているそうだ。

このように健康と美は直結しており、「健康こそ美しい」と岡本先生は言う。今では遠方からも足を運ぶ人もおり、評判の病院だと言える。

岡本病院



小松で100年以上続く、アットホームな病院。患者が気軽に足を運べる地域に根差した医療を目指している。



小松市小馬出町13
☎0761-22-6273
※完全予約制
休/日曜、祝日
P/あり
<http://okamotohospital.sakura.ne.jp/index.html>